

◇編集後記◇

副編集長になると、編集後記も担当しなければならないと説明は受けていた。しかし、どうも実際に順番が回ってくると、編集後記はおまけで、最終稿の確認作業もついてきた。すでに指摘されていたが、確かに細かい間違いであるが未修正のままとなっている点が少なくないという印象を受けた。最近は私自身もそうであるが、印刷された雑誌本体はざっとタイトルを眺めるくらいで、関心のある論文については雑誌本体から見いだすというよりは、PubMed 検索→電子ファイルとしてざっと読む→気になったら印刷するとともにファイルも保存という感じであり、したがって一冊の雑誌を横断的に詳細に読むという機会は減っているのではないだろうか。

短い時間の中ですべての間違いを確認できたとは到底思えず、いろいろと言訳を考えてみた（例えば、つまり読者も上記のような事情で通して読むことは少ないので、間違いがあってもそんなに気づかないものかもしれない、とか）。最終的には間違いの責任は自覚しなくてはならないと諦めることにした。任期中にまだ何度か担当することになるであろうから、次回・次々回と少しずつでもクォリティを上げて業務遂行することとしたい。

ところで編集後記はどれくらいの読者の目にとまっているのか気になった。個人的には、今回編集後記を書くにあたって、数回分を読んで見た、というのが正直なところである。せっかくなので、読んでいただけるための「刺激」という意味合いも含め、雑感（抱負？）を少し述べたい。

臨床医学においても繰り返し叫ばれている点であろうが、現場の役に立つ研究というものを指向した時に、産業医学領域の実務と研究の融合には、まだまだ課題が多いと感じる。辛辣に言えば、私自身が産業医実務に没頭していた大学院生のころに指導者から言われた言葉のリフレインである、原文ママで紹介したいところであるが、丁寧に言い換えると「産業医学実務には科学的研究の根拠が乏しい」と（もちろん「産業医学研究は現場で役に立つものが少ない」ということも裏返しだろうが）。実務と研究の建設的融合に向けた課題は簡単なものではないと理解しているが、産業医学雑誌や Journal of Occupational Health を通じて、少しでもこの点に貢献していきたいと思っている。

（高尾総司）

正誤表

産業衛生学雑誌 53 巻 4 号 P.A41

誤：東北大震災特集 正：東日本大震災特集

「産業衛生学雑誌」編集委員会

委員長：笹島 茂（三重大）

副委員長：櫻田尚樹（国立保健医療科学院）、杉森裕樹（大東文化大）、高尾総司（岡山大）、
玉腰暁子（愛知医大）、那須民江（名古屋大）、西田和子（久留米大）、平工雄介（三重大）、
藤野善久（産業医大）、毛利一平（労働科学研）、八谷 寛（名古屋大）

石竹達也（久留米大）、井上和男（帝京大）、岩崎健二（独法労働安全衛生総研）、植嶋一宗（三重大）、梅津美香（岐阜県立看護大）、小笹晃太郎（放射線影響研）、萱場一則（埼玉県立大）、川口陽子（東京医歯大）、熊谷信二（産業医大）、黒沢洋一（鳥取大）、近藤尚己（山梨大）、酒井一博（労働科学研）、佐々木美奈子（東京医療保健大）、菅沼成文（高知大）、田中昭代（九州大）、土井由利子（国立保健医療科学院）、中尾睦宏（帝京大）、中村裕之（金沢大）、馬場園明（九州大）、原田浩二（京都大）、東 尚弘（東京大）、福島哲仁（福島県立医大）、堀口兵剛（秋田大）、丸山総一郎（神戸親和女子大）、三木明子（筑波大）、三宅達郎（大阪歯大）、村田勝敬（秋田大）、八幡勝也（産業医大）、大和 浩（産業医大）、吉田貴彦（旭川医大）、渡邊博且（産業医大）

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番地8 公衆衛生ビル4階

電話 03-3356-1536 ファックス 03-5362-3746 振替 東京 00100-7-133495 番